



1998年06月05日

フォルクスワーゲンとポルシェ、オフロードモデルを共同開発

6月3日 ウォルフスブルグ 発:

ドイツのフォルクスワーゲンAG (本社:ウォルフスブルグ)とポルシェAG(本社:シュトゥットガルト) の監査役会は、オフロードカーの共同開発、ならびに生産に着手することで正式に合意いたしました。

このジョイントベンチャーにより、フルタイム四輪駆動を搭載するスポーツ ユーティリティ ビークル (SUV) のカテゴリーに新たなモデルが誕生します。フォルクスワーゲンAGでは、このオフロードカーを年間約80,000台生産する予定です。

高度な走行踏破性能をもつこの車は最新の安全装備を搭載し、卓越したオフロード性能を持つクルマとなるでしょう。エンジンは、高トルクガソリンエンジンと非常に低燃費のディーゼルエンジンの2種類が搭載される予定です。

両社は、このジョイントベンチャーに力を入れており、ウォルフスブルグとシュトゥットガルトの開発チームは既に密接な共同作業を開始しています。フォルクスワーゲンAGはこのオフロードカーの生産計画と生産を、ポルシェAGは開発プロセスをそれぞれ担当します。2002年以降に、2種類のオフロードカーがフォルクスワーゲン、ポルシェ、それぞれのディーラーから発売される予定です。

フォルクスワーゲンの代表取締役マーケティング・販売部門責任者であり、このジョイントベンチャーの責任者であるDr.ロバート ビュッフエルホーファーは以下のように述べています。「この車は他に類を見ないほど急速な成長を遂げているダイナミックなセグメント、つまりオフロードカーのセグメントに照準を合わせています。この成長する市場に魅力的な自社製品を提供することが我々の共通した目標です。」

尚、同モデルの日本への導入は未定です。